

2010 年度日本蛋白質科学会年会(2010/6/16-18)若手賞の報告

日本蛋白質科学会の若手賞の表彰は、蛋白質科学にかかわる若手研究者を奨励する事を目的とし、2008年度から2つのカテゴリーで始まりました。平成22年6月16～18日に、札幌コンベンションセンター(札幌市)において開催された第10回日本蛋白質科学会年会(田中勲年会長)の受賞者が決定いたしましたので、受賞者のお名前と授賞式の模様を速報としてお伝えします。なお、若手賞の発表および表彰式は、懇親会会場にて行われました。

【若手奨励賞2名】

300名を超える懇親会参加者が見守る中、以下の2名の若手奨励賞受賞者が発表されました(プログラム順)。

- ・2SA-3: 赤井 祐介(産総研・バイオメディシナル)
- ・2SA-10: 慈幸 千真理(京大・キャリアパス)



赤井祐介さん



慈幸千真理さん

若手奨励賞には本年も56名と多数の応募者があり、事前の書面審査により10名の招待講演者が選考されました。招待講演者の皆さんには、6月17日の午前中に開催された若手奨励賞シンポジウムにおいて、15分の招待講演を行っていただき、厳正な会場審査が行われました。

17日午後に行われた審査委員会では、合計25名の審査委員の採点結果を基に審議を行い、審査委員全員一致で平均得点上位2名を若手奨励賞受賞者とする事が決定いたしました。受賞者のお二人には、表彰状と記念品(楯)、副賞としてPSSJのロゴ入りApple社製iPod nanoが授与され



ました。また、The Protein Societyのご厚意により、受賞者にはProtein Societyメンバーシップが与えられます。

【ポスター賞10名】

若手奨励賞の表彰に先立ち、以下の10名のポスター賞受賞者の発表が行われました（ポスター番号順）。

- ・1P-015: 池淵 紗織(阪大・理)
- ・1P-023: 宮野 菜央(大阪府立大・理)
- ・1P-091: 友池 史明(阪大・生命機能)
- ・1P-092: 島田 敦広(阪大・理)
- ・1P-126: 岩佐 尚徳(鳥取大・工)
- ・1P-134: 富田 峻介(筑波大・数理物質)
- ・2P-008: 中根 修平(阪大・理)
- ・2P-091: 笠原 浩太(東大・新領域)
- ・2P-151: 畠中 孝彰(鹿児島大・理工)
- ・2P-157: 富澤 聡(北大・理)



学生会員を対象とするポスター賞には 135 名の応募がありました。年会会場で、事前に提出していた pdf ファイルを基に、応募者全員に1 分間のフラッシュトークを行っていただきました。フラッシュトークと、ポスター会場での発表の双方を基に、25 名の審査委員による厳正な採点が行われ、各分野から合計 10 名の受賞者を決定しました。受賞者の皆さんには、表彰式の席上で、表彰状と Apple 社製 PSSJ のロゴ入り iPod nano が送られました。なお、ポスター賞には BBA(Biochimica et Biophysica Acta) 誌から協賛金をいただきましたことを付記いたします。

(日本蛋白質科学会若手育成担当理事)

電子メール版ニュースレター発行

〒562-8686 大阪府箕面市稲4-1-2 千里インターナショナル内

日本蛋白質科学会事務局

Tel: 072-729-4125, Fax: 072-729-4165

E-mail: pssj@senri-inter.jp

URL <http://www.pssj.jp>

(編集責任者: 村上聡) 2010年6月29日